

問1 吉野が南朝の拠点となった理由として、京都の勢力から身を守るためにどのような地形環境が重要であった？

1. 峻険な山々 2. 広大な平野 3. 緩やかな丘陵 4. 広大な盆地

問2 応仁の乱の後、実力のある者が上の立場の者を倒して勢力を広げた、戦国時代の風潮を何という？

1. 一揆 2. 下剋上 3. 一門 4. 落胤

問3 室町幕府の体制において、将軍の補佐役を務め、地方統治を担う重要な機関でもあった役職を何という？

1. 管領 2. 評定衆 3. 執権 4. 探題

問4 京都の東山に慈照寺銀閣を建て、書院造を代表する遺構を残した室町幕府の将軍は誰？

1. 足利義教 2. 足利尊氏 3. 足利義政 4. 足利義満

問5 鎌倉幕府の滅亡後、後醍醐天皇が始めた天皇中心の政治を何というか？

1. 寛政の改革 2. 建武の新政 3. 天保の改革 4. 明治維新

問6 建武の新政が行われていた期間の混乱ぶりを風刺し、当時の社会状況を伝えるために作られた落書きを何という？

1. 枕草子 2. 御成敗式目 3. 方丈記 4. 二条河原の落書

問7 室町時代に町衆が主体となって祭礼が運営された、京都にある神社を何という？

1. 東大寺 2. 八坂神社 3. 春日大社 4. 清水寺

問8 中世において、寺社の門前や交通の要所に、決まった日にちや回数で開かれる商業活動の場を何といいますか？

1. 座 2. 定期市 3. 見世棚 4. 問屋

問9 下剋上の風潮の中で、守護大名が衰えた後に各地で登場した新しい支配者のことを何という？

1. 国司 2. 公家 3. 守護大名 4. 戦国大名

問10 室町時代、東山文化を代表する建築物である銀閣（慈照寺）を建てた、室町幕府の8代将軍は誰？

1. 足利義政 2. 足利義満 3. 足利尊氏 4. 足利義持

問11 京都を中心として栄え、わび・さびを特徴とする室町時代の文化を何という？

1. 北山文化 2. 天平文化 3. 国風文化 4. 東山文化

問12 下の身分の者が、上の身分を力で倒して地位を奪う、室町時代の社会風潮を何という？

1. 実力 2. 家格 3. 門地 4. 血縁

問13 尚氏が沖縄本島を統一し、琉球王国を建てた時期はいつ頃？

1. 15世紀 2. 17世紀 3. 16世紀 4. 14世紀

問14 室町時代、琵琶湖の水運と連携し、大津や坂本などの港から京都へ物資を陸上輸送していた運送業者を何という？

1. 問丸 2. 馬借 3. 車借 4. 座

問15 明との貿易を開始し、倭寇の取り締まりを行った室町幕府の三代将軍は誰？

1. 足利義政 2. 足利義満 3. 足利尊氏 4. 足利義教

問16 室町時代に信仰を基盤として団結した民衆が、領主に抵抗して起こした武装蜂起を何というか？

1. 日蓮宗 2. 禅宗 3. 浄土真宗 4. 浄土宗

答え合わせ・解説

問1	答え 1 峻険な山々	吉野は奈良の奥地に位置し、非常に険しい山々に囲まれています。この地形は、大規模な軍勢による攻撃を困難にしました。そのため、南朝は少ない兵力でも長期的に拠点を維持することが可能となりました。
問2	答え 2 下剋上	「下剋上」とは、下位の者が上位の者を実力で倒して支配権を奪う、戦国時代特有の世の中の秩序を指します。守護大名が家臣や国人に実権を奪われる事態が各地で相次ぎました。
問3	答え 1 管領	管領は、足利氏の一門である有力な守護大名（斯波氏、細川氏、畠山氏）が交替で務めた役職で、将軍を助けて幕府の政治や行政を統括しました。鎌倉府のような地方機関が力を強める中、中央の幕府を支える要としての役割を果たしました。
問4	答え 3 足利義政	義政は京都の東山に山荘として東山殿（のちの慈照寺、銀閣）を造営しました。その中の東求堂同仁斎という建物には、書院造の特徴である「床の間」や「違棚」が備わっており、後の日本建築に多大な影響を与えました。
問5	答え 2 建武の新政	後醍醐天皇は、天皇中心の政治を行うために、公家を重用し武士の意見を十分に聞き入れない政策を行いました。京都を中心としたこの政治体制は、武士の土地の権利を不安定にしたため、多くの武士の不満を買う結果となりました。このため、わずか2年半ほどで崩壊しました。
問6	答え 4 二条河原の落書	二条河原の落書は、当時の世の中の様子や政治の混乱を風刺した文章です。二条河原（現在の京都市内）の壁などに書かれたとされており、当時の庶民や武士が感じていた政府への不信感が鋭い言葉で表現されています。
問7	答え 2 八坂神社	八坂神社で行われる祇園祭は、室町時代の京都において、有力な商工業者である「町衆」が中心となって運営されました。町衆は自分たちの住む街を守り、団結力を誇示するために豪華な山鉾を造り、祭りを盛り上げました。これは都市自治の象徴でもありました。
問8	答え 2 定期市	寺社はその権威と安全性を背景に、参拝者が集まる門前や街道の要所に定期市を開かせました。決まった日に開かれるこの市は、農村や都市の人々が物資を交換する場となり、経済の中心地として発展しました。
問9	答え 4 戦国大名	戦国大名は、領民を直接掌握し、分国法を作るなどして独自の領地支配を行いました。彼らは城を拠点とし、軍事と行政を一体化させて、自分の領地を強く支配しようとしました。
問10	答え 1 足利義政	足利義政は、政治への関心を失う一方で、禅宗の思想の影響を受けた「わび・さび」という独特の美的感覚を深めました。自らの山荘として慈照寺（銀閣）を建て、そこを拠点に東山文化を花開かせました。
問11	答え 4 東山文化	東山文化は、禅宗の影響を強く受けているのが特徴です。簡素で落ち着いた「わび・さび」の精神が重視され、書院造の原型や水墨画、能楽などが大きく発展しました。これまでの武家文化と公家文化が融合し、現代の日本文化にもつながる大きな影響を与えました。
問12	答え 1 実力	かつての伝統的な秩序や家柄が重んじられる時代から、個人の能力や武力が重要視される時代へと変化しました。これが「実力」主義的な社会風潮である下剋上の本質です。
問13	答え 1 15世紀	15世紀に入り、尚巴志が各地の勢力を平定して沖縄本島を統一し、琉球王国を建国しました。この国は、東アジアの海域ネットワークの中心として、中国や日本、東南アジアとの中継貿易によって大きな繁栄を遂げました。
問14	答え 2 馬借	馬借（ばしゃく）は、馬の背に荷物を載せて運送を行う業者です。琵琶湖などの水運と組み合わせて、港から京都へ物資を運ぶ重要な役割を果たしました。当時の物流の主役の一つであり、運送を通じて経済的に大きな影響力を持つようになりました。
問15	答え 2 足利義満	足利義満は室町幕府の三代将軍で、南北朝を合一させ、幕府の権力を安定させました。また、明との貿易を望み、海賊である倭寇を鎮圧することを条件に貿易を再開させ、経済的な基盤を整えました。京都に金閣（鹿苑寺）を建立したことで有名です。
問16	答え 3 浄土真宗	浄土真宗は「悪人正機」の教えを掲げ、身分に関係なく救われることを説いたため、農民や商人たちに深く浸透しました。共通の信仰で結ばれた門徒たちは、寺院を中心に強固な団結力を持ちました。この団結が、守護大名に対抗する際の大きな力となり、各地で武装蜂起を起こす原動力となりました。